



大西

おおにし

歌人・大西民子
生誕100周年
記念展示

民子

たみこ

故郷盛岡を想う

水はしづまる
長くのうそ
あしあと
ついでに
あつた

民子


2024年 4月1日(月) ▶ 5月30日(木)

【休館日】 4月30日(火)・5月25日(土)

【時間】 9:00 - 20:00

【場所】 岩手県立図書館 3階 吹き抜けスペース

【主催】 さいたま市立大宮図書館 × 岩手県立図書館

大

お
お
に
し

西

歌人・大西民子
生誕100周年
記念展示

民

た
み
こ

子

2024年は、盛岡出身の歌人・大西民子(1924-1994)の生誕100年、没後30年の記念の年です。

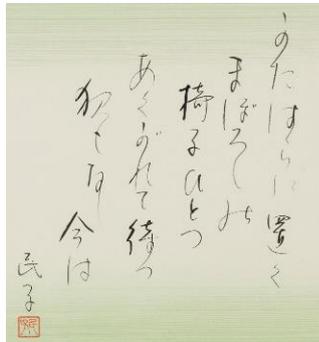
民子は1924年岩手県盛岡市に生まれました。小学生の時に、盛岡天満宮にある石川啄木の歌碑を見て短歌に興味をもち、盛岡高等女学校の頃から歌を詠み始めました。25歳で埼玉県大宮市(現:さいたま市大宮区)に移り住んだあとは、歌人・木俣修に弟子入りし、その後歌人として頭角を現した民子は、1982年に『風水』で迢空賞を受賞、1992年には紫綬褒章を受章しました。

1994年、民子は69歳で亡くなりますが、原稿等の資料約1万点は当時の大宮市に寄贈され、現在さいたま市立大宮図書館で資料の保存・整理を行っています。

大宮に住んでからはほとんど盛岡に帰ることはなかった民子ですが、生涯に渡って、故郷を想う歌を詠んでいます。

そこでこの度、大西民子生誕100年を記念し、岩手県立図書館の協力のもと、大西民子の里帰り展示を開催いたします。今回の展示では、大西民子の代表作を紹介するほか、盛岡時代に作成した日誌や故郷を詠んだ歌の自筆原稿等を展示いたします。

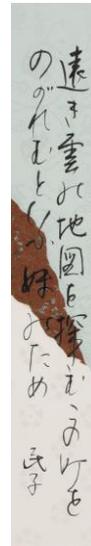
生誕100年の今、盛岡の皆さまにも改めて民子の歌の魅力をご紹介します。



1



2



3

1. 色紙「かたはらに置くまぼろしの椅子ひとつ
あくがれて待つ夜もなし今は」『まぼろしの椅子』
2. 手作り歌集 びわの花 (1945年5月作)
3. 短冊「遠き雲の地図を探さむこの町を
のがれむといふ妹のため」『雲の地図』
4. 文化会館時代の民子

※1-4さいたま市立大宮図書館蔵

さいたま市立大宮図書館のご案内

▶ 大宮図書館

〒330-0843 埼玉県さいたま市大宮区吉敷町1-124-1
開館時間 / 9:00~21:30
休館日 / 年中無休(特別整理期間のみ休館)
電話 / 048-643-3701



大宮図書館 HP



大宮図書館 X

▶ 大宮図書館文学資料コーナー

2019年5月7日、大宮図書館の移転開館に伴い、引き続き大西民子関係資料の整理・保管を行うとともに、新たに文学資料コーナーを設けました。ここでは、大西民子を中心に郷土ゆかりの文学者たちの企画展を行うほか、関連イベントを開催するなど、さいたま市ゆかりの文学をご紹介します。



▶ おおみやデジタル文学館

大西民子の作品や年譜をはじめ、直筆資料や音声資料なども、インターネットを通じていつでも閲覧することができます。



おおみや
デジタル文学館

岩手県立図書館

〒020-0045 岩手県盛岡市盛岡駅西通1-7-1
【開館時間】 9:00-20:00
【休館日】 各月末(土曜・日曜・祝日の場合は、前日)
【電話】 019-606-1730

